

# リエぞん



〈編集・発行〉  
独立行政法人 国立病院機構  
奈良医療センター  
<https://nara.hosp.go.jp/>

Liaison

vol.56

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター

令和6年 初号

医療関係者の皆様へ 「リエぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。  
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで名付けました。

## 病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院を目指します  
患者第一、安心安全な先進医療を提供します

## 令和6年度 病院目標

呼吸器疾患と神経疾患を中心とした  
「面倒見のいい病院」の機能を高める



## Contents

- |                  |         |                         |         |
|------------------|---------|-------------------------|---------|
| ●ごあいさつ文(院長)      | ————— 2 | ●国立病院総合医学会、QC活動奨励表彰について | ————— 6 |
| ●部門紹介ー訪問看護、栄養管理室 | ————— 3 | ●防災訓練について               | ————— 7 |
| ●第3回放射線検査について    | ————— 4 | ●連携施設のご紹介コーナー VOL.18    | ————— 8 |

# 本年のあいさつ

院長 平林 秀裕



新年を迎え、ご挨拶申し上げます。  
大変な災禍で幕を開けた2024年。災厄に遭われたかたがたには、心よりお見舞い申し上げます

さて、辰年は、これまで努力してきたことが実を結んで成就する年とされています。

当院は、結核や神経難病といったセーフティネット系医療等を中心に、患者さんが住み慣れた街で安心安全に暮らせるように「面倒見のいい病院」として地域医療に貢献することを目指してきましたが、本年は特に以下の7項目を充実させたいと思います。

## 1) 新型コロナウイルス感染症

5類感染症となりましたが、まだまだ感染力が強く、高齢者や基礎疾患を持つ患者さんには依然脅威です。重点医療機関としての経験を活かして、近隣医療機関からの加療要請に積極的に対応します。

## 2) てんかん医療・機能的脳神経外科

奈良県におけるてんかん支援拠点病院として、1) 県内の医療機関、救急隊等がてんかん患者さんの医療情報を共有できる仕組みの構築、2) いわゆるてんかんサポート医の養成、3) てんかんコーディネータ養成などを通して、てんかんに悩む患者さんが安心して暮らせるようにする。

またこれまでパーキンソン病、ジストニア、痙縮、難治性疼痛に対する機能的脳神経外科治療で国内屈指の実績を積んできましたが、今春からはてんかん手術の専門家を迎え、より充実した機能的神経外科を展開します。

さらにてんかん・パーキンソン病において遠隔診療を導入し、患者さんの利便性をはかります。

## 3) 呼吸器内科診療の更なる充実

結核医療、難治性肺MAC症に対する治療、アレルギー疾患支援病院として重症喘息に対する生物学的製剤や気管支サーモプラスティなどによる治療に加えて、呼吸サポートチーム（RST）によるCOPDなどの慢性呼吸不全に対する呼吸器リハビリテーションや睡眠時無呼吸障害に対する治療など「呼吸機能の向上」を目指す医療に注力します。

## 4) 発達障害に対する取り組み（小児神経科）

これまで重症心身障害児の医療を中心に、居宅訪問型児童発達支援事業など他では行われていなかった事業を展開してきましたが、今後はPost NICUの重心患者さんにも積極的に対応してまいります。

また今や社会問題ともいえる小児の発達障害についても、積極的に取り組みます。

## 5) 病院から地域へ

在宅呼吸療法や脳深部刺激療法等の特殊なデバイスを留置されている患者さんの訪問看護・診療の充実や医療Dx時代に合わせて、現在は、てんかん患者さんのみで実施している遠隔診療を拡充させていただきます。

## 6) 地域との連携

奈良県立医科大学との患者受け入れ協定、奈良県総合医療センターの救急ネットワークへの参加等、病病連携を実施してきましたが、近隣の病院・医院が当院へ相談しやすいように地域連携室の窓口を17時から19時に拡大し、病診連携を促進します。肺炎、喘息、てんかん、脳卒中やその他common diseaseなどご相談ください。

## 7) 災害時の取り組み

障害者（特に重心）災害時の地域協定の確立。大規模災害時には、特に障害のある方の避難は、呼吸器など多くの問題があります。そこで当院、奈良市及び県内2つの重症心身障害児者施設との間で「災害時における療養介護事業所のある医療機関への入院に関する協定」を締結し、昨年は奈良市総合防災訓練へも参加しました。

当院は、災害時に障害児者に優しい病院をめざします。

これまでの取り組みが実を結んで、地域の皆様に貢献できる年となりますように奈良医療センター一同頑張りたいと思います。



# 訪問看護



## 当院の訪問看護の特色って何？



入退院を繰り返す神経・筋  
難病など厚生省が定める疾  
患の患者様を中心に、専門  
的知識を有した看護師が定  
期的に訪問します。  
必要な医療処置や在宅療養  
上の指導を行うことで住み  
慣れた地域で治療を続けな  
がら生活を営むことを支援



私達が訪問します 😊

管理栄養士も看護や療育スタッフの訪問に同行して栄養の提案をしています

~~~~~これまでこのような患者さまのお宅を訪問しました~~~~~

- ・ 結核で入院した糖尿病の高齢患者さま
- ・ 褥瘡治療で入院された一人暮らしの高齢患者さま
- ・ 褥瘡治療で入院されたパーキンソン病で糖尿病の患者さま
- ・ 当院の居宅訪問型児童発達支援事業利用しているてんかんの胃瘻患者さま
- ・ 当院の居宅訪問型児童発達支援事業利用している人工呼吸器装着の患者さま
- ・ 在宅酸素の患者さま

~~~~~

お食事が飲み込みにくい・・・  
胃瘻からの栄養補給をしている・・・  
褥瘡ができた・・・  
痩せてきた・・・  
糖尿や腎臓病などの基礎疾患がある・・・などなど

管理栄養士にお気軽に相談してください





# 放射線検査について

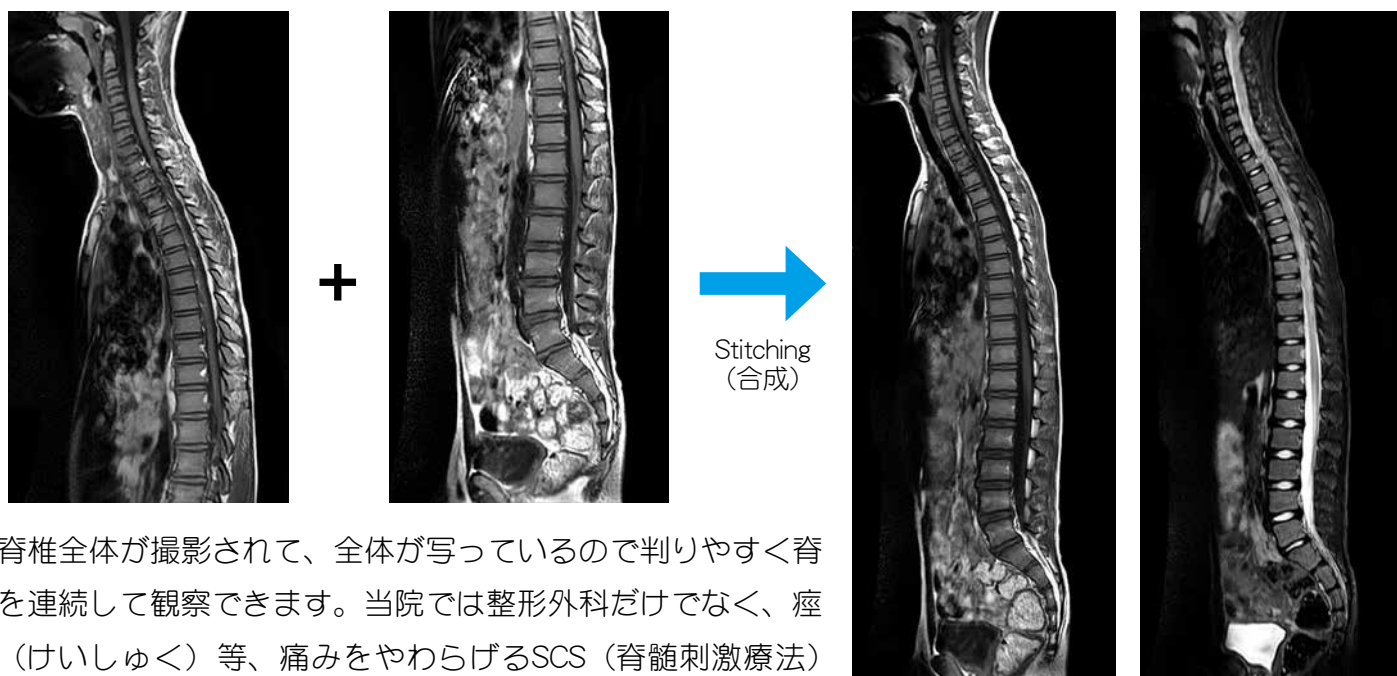
## ～ 第3回 整形領域と脊椎関連のMRI撮影画像 ～

診療放射線技師長 岩井 康典

第3回は、整形領域と脊椎関連のMRI画像について紹介します。

当院は整形分野の撮影も通常の検査としてMRI撮影検査を行っています。自院だけでなく広く他院からも検査を請け負っています。すべてではありませんが、次ページに腰椎 (Fig.1)、膝関節 (Fig.2)、手関節 (Fig.3) の画像を供覧いたします。また、整形だけでなく神経系にもかかわるMRI検査として、全脊椎と低髄液圧の撮影について以下に紹介します。

### ●全脊椎ルーチン

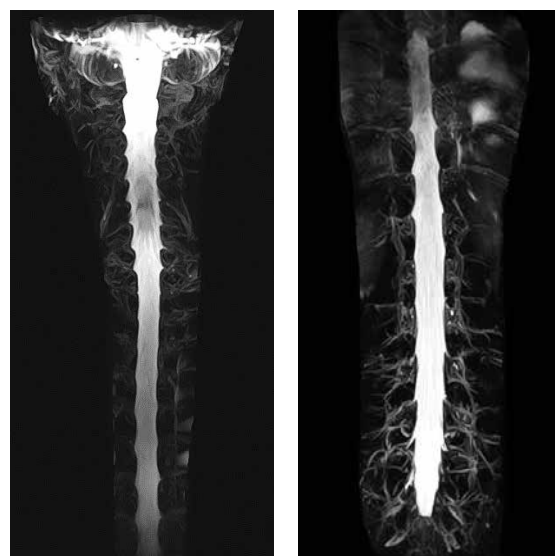


脊椎全体が撮影されて、全体が写っているので判りやすく脊髄を連続して観察できます。当院では整形外科だけでなく、痙縮（けいしゅく）等、痛みをやわらげるSCS（脊髄刺激療法）やITB療法（バクロフェン髄注療法）を行っているため、詳細な全脊髄の情報を得るため検査を行っています。

### ●低髄液圧ルーチン（脊椎）

低髄液圧症は脳脊髄腔から脳脊髄液（髄液）が持続的ないし断続的に漏出することによって起こるとされています。当院では、髄液漏出像検出する検査として、MRIを使用したMRミエログラフィーを行っています。メリットとして、硬膜穿刺のリスクが無く造影剤が不要、短時間で検査を行え、高い空間分解能を有する等があります。同時に造影脳MRIも行っています。

検査画像としては、上記の全脊椎MRI検査画像とともにMRミエログラフィ（2D・3D）を提供しています。



3D MRミエログラフィ



Fig.1 腰椎 (5シーケンス 15分)

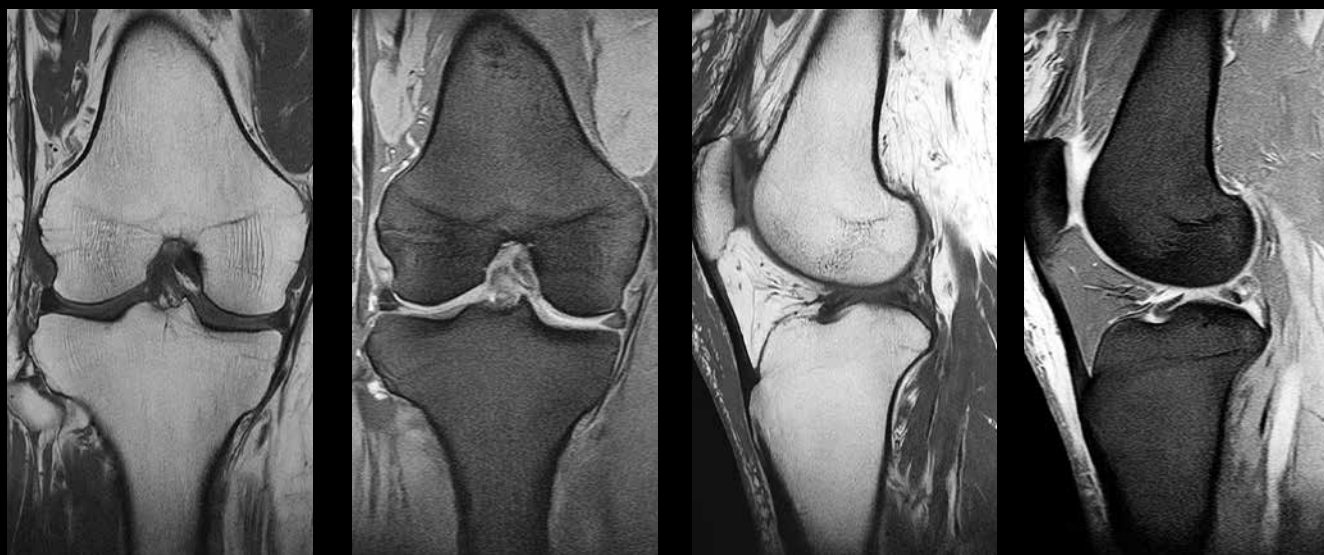


Fig.2 膝関節 (6シーケンス 17分)

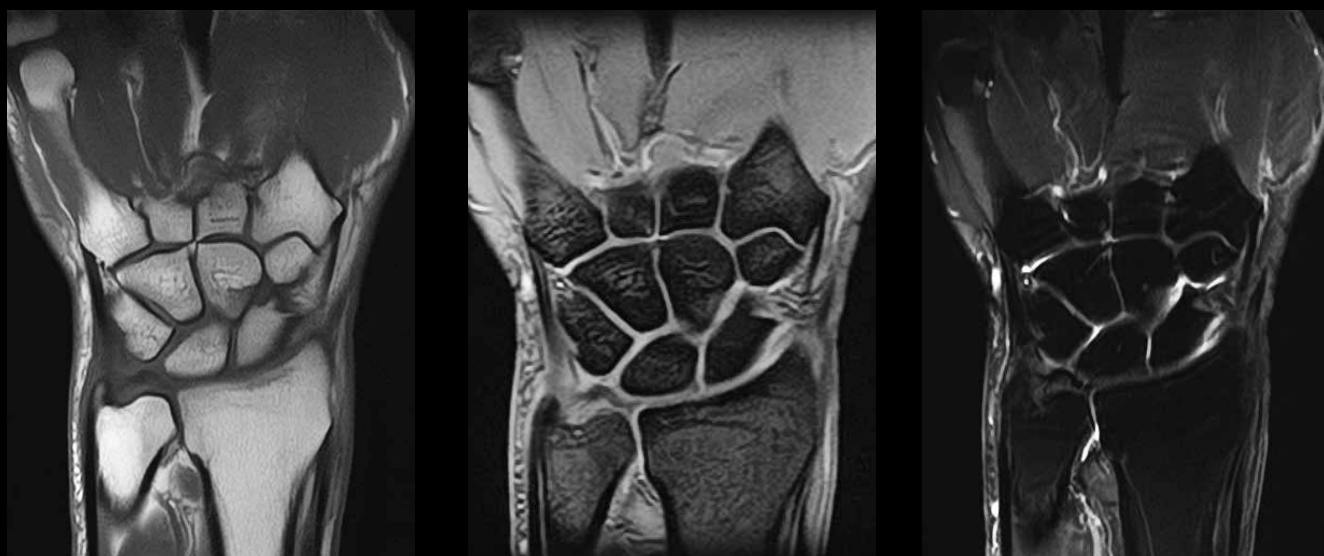


Fig.3 手関節 (5シーケンス 15分)

次回は、その他部位のMRI撮影を紹介いたします。(つづく)



# 第77回国立病院総合医学会

令和5年10月20日（金）、21日（土）に第77回国立病院総合医学会がリーガロイヤルホテル広島、広島県立総合体育館、メルパルク広島で開催されました。当院からは以下の演題について発表しました。

## ◆登録演題

	発表者	部署	テーマ	形態
1	佐村 知哉	療育指導室	「国立病院機構の児童指導員として今、何をすべきか」 職場長等の方々、「人材育成は難しいです」と言うだけではいけません！！	シンポジウム
2	上ノ町かおり	栄養管理室	褥瘡治療目的で入院したパーキンソン病患者の在宅訪問までの関わり	口演
3	林 結	栄養管理室	結核病棟患者における退院前訪問での栄養士の関わり	口演
4	安居 佐織	薬剤部	多錠半割カッター導入による業務軽減効率について	ポスター
5	三嶋 美穂	薬剤部	てんかん薬剤師外来の開設	ポスター
6	東 奈緒子	リハビリテーション科	臨床心理・神経心理検査にかかる診療報酬とコストの分析	ポスター
7	作 慎一郎	リハビリテーション科	当院におけるFIM導入の検証と対策	ポスター
8	梅景 洋介	リハビリテーション科	ボツリヌス治療における当院リハビリテーション科の役割 ～在宅リハビリテーションとの連携～	ポスター
9	石樽 尚仁	リハビリテーション科	定位脳手術の手術中評価に関わるマニュアルの有効性	ポスター
10	小島 佳子	1A	重症心身障がい児（者）病棟に勤務する経験年数2～5年目看護師がかかえるジレンマについて ～教育的支援について考える～	ポスター
11	志水 佳代	2B	誤嚥性肺炎を繰り返す嚥下障害患者における喉頭摘出術の効果 ～過去5年間におこった7例を振り返って～	ポスター
12	橋本 彩華	3A	低栄養で皮膚の脆弱性の高い臥床患者への褥瘡予防 ～固定チームナーシングによるウォーキングカンファレンスを通して～	ポスター
13	山田 浩史	南	コロナ病棟における応援業務の変遷	ポスター
14	宇尾 ユミ子	看護部長室	特定行為看護師が胃ろう交換を行うことでのタスクシフトの効果	ポスター
15	宇尾 ユミ子	看護部長室	特定行為研修修了者の活動実態と育成	ポスター
16	高橋 博	療育指導室	直接対面による療育参観を実施して	ポスター
17	矢野 和輝	療育指導室	身寄りがいない重症心身障害者への意志決定支援における福祉的マネジメント	ポスター
18	泉田 友紀	療育指導室	「支援から学んだ保育士の役割」～リモートショッピングを実施して	ポスター

## ◆令和5年度QC活動奨励表彰 近畿グループ優秀賞 受賞

経費削減に向けた当院の取り組みが近畿グループ管内で優秀賞を受賞しました。

タイトル：ケチケチ大作戦 チーム名：奈良医療センターケチケチ活動隊！



# 令和5年度防災訓練

10月29日（日）に当院は防災訓練を実施しました。今年度は防火訓練を行った後、奈良市主催の総合防災訓練に参加し災害訓練を実施しました。

## ◆防火訓練

防火訓練では、実際に火災が発生した場合を想定し火災報知器を作動させ、役割分担されたシナリオに基づき職員一人一人が、火災が発生した際の実行すべき行動を確認しました。連絡手段には普段から定期的に訓練しているトランシーバーを使用し、避難誘導手段としてはエアストレッチャーを使用しました。



## ◆災害訓練

当院は、奈良市と「災害時における療養介護事業所のある医療機関への入院に関する協定書」を締結しており、大規模災害発生時に、難病患者・長期療養児（者）・身体障害者手帳の交付を受けた者等で、人工呼吸器等の電源が必要な医療機器や吸引等の医療処置を必要とした特別な配慮が必要な患者が、在宅や避難所での生活に困難をきたす場合に一時的に当院へ避難させることができます。

今回、当院は奈良市主催の総合防災訓練に参加し、奈良市との連絡による連携や実際の患者さんも被災者役として参加された訓練を初めて実施しました。被災者役には希望された数名の患者さんや白鳳女子短期大学の学生さんがボランティアで多数参加されました。また、事前研修や当日の訓練の進め方では国立病院機構本部DMAT事務局の方々にご指導いただきました。患者さん及び職員の安心・安全を最優先に、職員一人一人が真剣に取り組み、臨場感のある大変有意義で貴重な経験となりました。

これを機に、大規模災害発生時に備えた連携を奈良市や関係機関と深めたいと思います。



# 橋本クリニック

橋本 浩 院長

2003年に橿原市八木町に脳神経外科を標榜する診療所を開業いたしました。今年20周年を迎えることができました。自身の能力の範囲内で専門外の疾患にもできる限り対応することを心がけてきました。20年の歳月の中ではこれまで経験しなかった多くの疾患を勉強する機会があり、病院の先生方と病診連携をする中で返信された詳細な診療情報提供書から多くの経験と知識をいただいております。奈良医療センターは奈良県てんかんセンターとして、てんかん診療に関する勉強会を定期的に開催されています。私は勤務医時代の後半はてんかんの診療に従事していましたが、てんかんという疾患は病診連携に大変向いている疾患であると考えています。これまでてんかん診療に縁のなかった開業の先生方にも奈良医療センターの勉強会にぜひ参加していただき、奈良てんかんネットワークが発展することを願っております。



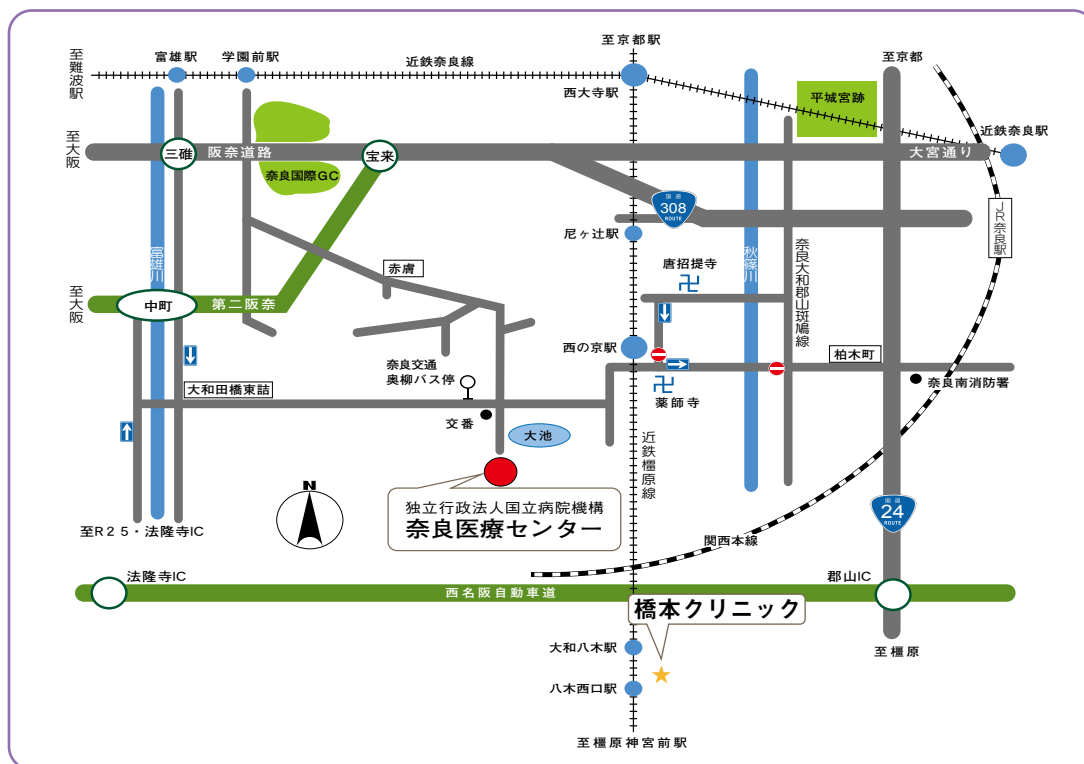
診療科目：脳神経外科、専門外来、内科、小児外科、リハビリテーション科

診療時間：月～土曜日 午前診 9:00～12:30

月～水・金曜日 午後診 16:00～19:00

休診日：祝日、日曜日 木・土曜日午後診

奈良県橿原市八木町1-7-30 ☎0744-20-3133



独立行政法人 国立病院機構  
**奈良医療センター**  
**地域医療連携室**

〒630-8053  
奈良市七条2丁目789  
TEL.0742-45-4591 (代表)  
TEL.0742-45-1563 (直通)  
FAX.0742-45-4901 (直通)